

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成24年3月22日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	シシ伏川 通常砂防事業		地区名	京丹後市丹後町間人	
概算事業費	2.0億円		事業期間	平成24年度～平成28年度	
事業概要	砂防えん堤 2基、溪流保全工、管理用道路				
目指すべき環境像	シシ伏川は、二級水系竹野川の流域に位置する土石流危険溪流である。砂防えん堤を整備し、土砂移動を軽減することにより、集落への土砂流出を防ぎ、動植物の生育環境の保全と、長期的な景観の保全を目指す。また、地域住民の安心・安全を確保すると共に、地域の生活環境の保全に努める。				
関連する公共事業	間人谷地区急傾斜地崩壊防止対策				
評価項目		施工地の環境特性と目標		環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点		選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)		溪流が荒廃しており、溪床には不安定な土砂が堆積しているため、荒廃の進行を防止し、それに伴う溪流周辺の地形の保全を図る必要がある。	砂防えん堤を設置することで、溪流の土砂移動を抑制し、現地地形と植生の早期回復を図る。	
	地形・地質	○			3
	物質循環(土砂移動)	○			4
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系				
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン		溪流下流に人家や府道が位置しているため、工事期間中の土壌流下や、工事車両による騒音・震動を抑制する必要がある。また、建設発生材を極力リサイクルする必要がある。	工事実施中は、低騒音・低震動機械を使用することを原則とする。粉じんが発生する工程では、散水や防塵シートを使用する等、日常生活に支障を及ぼさないよう、配慮する。また、建設発生材は当該工事や近隣の公共工事や民間工事と調整し、再利用に努める。	
	水環境・水循環				3
	大気環境				3
	土壌・地盤環境				3
	騒音・振動	○			
	廃棄物・リサイクル	○			
	化学物質・粉じん等	○			
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	○	当該溪流周辺は人家や学校が集中した集落に流下する溪流であるが、豊かな自然景観に恵まれていることから、植生等の環境の改変を最小限に止める必要がある。また、隣接する斜面では継続して、急傾斜地崩壊対策事業が実際されており、住民と協同しながら土砂災害対策に取り組んでいる。	材料の選定にあたっては、現地採取材料の活用や、在来種による掘削法面の復旧等、地域の自然景観との調和を図るよう努める。地域協同では、地域住民に対し、土砂災害に関する意識向上が図られるような、工事説明会等を実施する。	3
	里山の保全				
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働	○			4
その他					
外部評価					

(別紙)

構想ガイドラインチェックリストの記載要領

- 1) 「施工地の環境特性と目標」欄：評価項目の「主要な評価の視点選定の考え方」に当てはまる項目について、下記の記載要点を踏まえて施工地地の環境特性と目指すべき方向（環境目標）についての点検を行い、できるだけ具体的に（例えば絶滅危惧種の名称等）記載すること。
- 2) 「環境配慮・環境創造のための措置内容」欄：「施工地の環境特性と目標」の記載内容に対応して実施しようとする回避措置や自然再生・環境創出等の方策について記載すること。
- 3) 「環境評価」欄：評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。
(改善；5、やや改善；4、現状維持；3、やや悪化；2、悪化；1)

評価項目	主要な評価の視点	「施工地の環境特性と目標」の記載要点
	地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動等) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 その他
生活環境	ユニバーサルデザイン 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質・粉じん 電磁波・電波環境・日照 その他	<ul style="list-style-type: none">・高齢者や障がい者など社会的弱者に配慮した施設構造としていくことが必要。・事業前の水環境・水循環が良（又は不良）であるため、その維持（又は改善）が必要。・事業前の大気環境が良（又は不良）であるため、その維持（又は改善）が必要。・事業前の土壌・地盤環境が良（又は不良～汚染、沈下、水脈分断など）のため、その維持（又は改善）が必要。・事業の実施又はそれによって設置される施設の供用に伴って、騒音・振動の発生が予測されるため、発生抑制が必要。・事業の実施又はそれによって設置される施設の供用に伴って、建設廃棄物の大量発生が予測されるため、発生抑制、再使用、リサイクルなどが必要。・事業の実施又はそれによって設置される施設の供用に伴って、化学物質や粉じんによる汚染が予測されるため、汚染の防止・抑制が必要。・事業の実施又はそれによって設置される施設の供用に伴って、電磁波、電波障害、日照障害が予測されるため、障害の防止・抑制が必要。・その他、施工地及び周辺地域における生活環境の特性と目指すべき方向（環境目標）
地域個性・文化環境	景観 地域の文化資産 里山の保全 伝統的行祭事 地域住民との協働 その他	<ul style="list-style-type: none">・京都らしい自然景観や歴史的景観、都市景観が存在するため、その維持・保全・改善・回復などが必要。・史跡や天然記念物、歴史的に重要な遺跡、古道、伝承、家屋(群)など地域固有の文化資産が存在するため、その維持・保全・改善・回復などが必要。・多様な生物相や農村景観の重要な要素となっている里山が存在しているため、その維持・保全・改善・回復などが必要。・地域の伝統的な行祭事等が行われているため、その維持・保全・改善・回復などが必要。・事業の構想、設計、施工、管理などについて地域住民との協働が必要。 <p>・その他、施工地及び周辺地域における地域個性や文化環境の特性と目指すべき方向（環境目標）。</p>